松山市男女共同参画事業実施計画

令和４年度　実績報告（詳細版）

令和5年10月

市民部　市民生活課

<目次>

通番	事業名	担当課	分類
1	市民に対するDV(ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ･ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ)等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	**主要課題1** 男女の人権の尊重
2	市職員に対するDV(ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ･ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ)等に関する啓発	人事課・市民生活課	
3	若年層に対するデートDV等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	
4	DV等に関する学習会の実施	男女共同参画推進センター	
5	DV等に関する相談の実施	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
6	DV等に対応する相談員の資質の向上	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
7	苦情の適切かつ迅速な処理	市民生活課	
8	DV被害者支援庁内連絡会議の運営	子育て支援課	
9	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用	子育て支援課	
10	関係機関との連携	子育て支援課	
11	地域におけるDV等被害者の早期発見	市民生活課	
12	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理	健康づくり推進課	
13 (27)	自殺予防対策	保健予防課	
14	女性のための相談	男女共同参画推進センター	
15 (26)	男性のための相談	男女共同参画推進センター	
16	保護者等を対象とした講演会等	健康づくり推進課・保健体育課・保健予防課	
17	エイズ等特定感染症対策事業	保健予防課	
18	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業	健康づくり推進課	
19	ネットトラブルから子どもを守る取り組み	市民生活課	
20	男女共同参画の視点からの公的広報の実施	市民生活課	
21	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	**主要課題2** 社会制度・慣行の見直し
22	男女共同参画に関する情報の収集及び提供	男女共同参画推進センター	
23	人権啓発推進員の養成	人権啓発課	
24	男女共同参画に関する各種実態調査	男女共同参画推進センター	
25 (44)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座	男女共同参画推進センター	
26 (15)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
27 (13)	自殺予防対策【再掲】	保健予防課	
28 (63)	国際性豊かな人づくり	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
29	平和への取り組み	市民生活課	
30	女性登用率の向上促進	市民生活課	**主要課題3** 方針決定過程への女性の参画拡大
31	男女共同参画に関する研修制度の充実	人事課	
32	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進	人事課	
33	インターンシップ及び市役所業務説明会等	人事課	
34	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画	人事課	
35	女性の活躍推進(ジョカツ)	男女共同参画推進センター・市民生活課	
36	人材育成に関する講座	男女共同参画推進センター	
37	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(消費生活モニター)	市民生活課	
38 (76)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)	地域消防推進課	
39 (90)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供	男女共同参画推進センター	
40	地域における男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
41	まつやま農業者セミナー	農業委員会事務局	
42	地域のまちづくりへの女性参画促進	まちづくり推進課	
43	市民活動団体等に対する支援・連携促進	まちづくり推進課	

通番	事業名	担当課	分類
44 (25)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター	
45	男女雇用機会均等法の周知・啓発	地域経済課	
46	企業内人権教育担当者研修講座	人権啓発課	
47	ワーク・ライフ・バランスの普及活動（企業・事業者・団体等）	男女共同参画推進センター	
48	「まどんな応援企業宣言」認証制度	男女共同参画推進センター	
49	まどんな応援企業の周知啓発	男女共同参画推進センター	
50	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）	男女共同参画推進センター	
51	メンターの育成	市民生活課	
52 (82)	若者のライフデザイン支援事業	男女共同参画推進センター	
53	家族経営協定の推進	農業委員会事務局	
54	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金	農水振興課(農業指導センター)	
55	担い手総合支援事業	農水振興課	
56	松山市人材育成事業補助金事業	地域経済課	
57	女性の起業支援	地域経済課	**主要課題4** 仕事と生活の調和
58	松山市テレワーク在宅就労の促進	地域経済課	
59	女性の再就職支援	地域経済課	
60	高齢者雇用対策事業	地域経済課	
61	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理	高齢福祉課	
62	「松山市障害福祉計画」の進捗管理	障がい福祉課	
63 (28)	国際性豊かな人づくり【再掲】	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）	
64	市民からの各種相談への対応	市民生活課	
65	若者の正社員化及び就労訓練	地域経済課	
66	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理	子育て支援課	
67	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理	保育・幼稚園課・子育て支援課	
68	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業（育児）】	男女共同参画推進センター・子育て支援課	
69	子育てに関する情報の発信	子育て支援課	
70	子育て家庭の送迎等支援	子育て支援課	
71	ファミリー・サポート・センター（介護）	高齢福祉課	
72	介護予防と認知症サポーターの養成	介護保険課	
73	対策本部運営事業	防災・危機管理課	
74	自主防災組織育成事業	防災・危機管理課	
75	松山のひととまちを守る！防災士養成事業	防災・危機管理課	
76 (38)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成（女性防火クラブ）【再掲】	地域消防推進課	**主要課題5** 地域防災分野での男女共同参画
77	松山市地域防災計画の進捗管理	防災・危機管理課	
78	啓発推進事業	防災・危機管理課	
79	みんなの消防フェスタ開催事業	地域消防推進課	
80	災害用物資資機材整備事業	防災・危機管理課	
81	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発	人権啓発課	
82 (52)	若者のライフデザイン支援事業【再掲】	男女共同参画推進センター	
83	地区人権教育の推進	人権啓発課	
84	人権教育研究会の開催	人権啓発課	
85	人権啓発フェスティバルの開催	人権啓発課	**主要課題6** 教育分野での男女共同参画
86	キャリア教育の支援	男女共同参画推進センター	
87	子どもから広がるいじめ0ミーティング	学校教育課	
88	元気活力支援事業	地域学習振興課	
89	男女共同参画に関する出張講座の開催	男女共同参画推進センター	
90 (39)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】	男女共同参画推進センター	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	1
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市民に対するDV（ドメスティック・バイオレンス）等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、DV（ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ･ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ）・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。特に11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には、シンボルカラーであるパープルのリボン運動等を実施する。			
数値目標	啓発人数（累計）3,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	コムズでは、「女性に対する暴力をなくす」運動期間に合わせて、1階ロビーにおいて、DVやパープルリボン運動に関する各種情報を提供しDVチェックリストを配布するなど意識啓発を行った。また、市から恵与されたポケットティッシュ（「DV相談ナビ」の周知カード入り）を大学生対象の「若者のライフデザイン支援事業」等にて配布したり、2階図書コーナーでは女性に対する暴力やセクハラ等について考えるきっかけとなる書籍のテーマ展示を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	282人	1点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	当センターでは学習会の開催、図書の貸し出し、相談事業を行っているので、各事業を連携させることで、DV等の意識啓発をさらに効果的になるよう取り組んでいく。

5. 成果	1階ロビーでは、パープルリボンが女性に対する暴力根絶のシンボルであることを周知するために、クリスマスツリーをイメージした大型用紙にパープルリボンを貼付する市民参加型のパネル展示も用意した結果、ツリーがパープルリボンで埋まるなど、市民の関心の高さがうかがえた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	2
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV(ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ･ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ)等に関する啓発			
担当	人事課・市民生活課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。随時、イントラネットを通じた情報発信や庁内放送を通じた周知啓発を実施する。			
数値目標	周知回数2回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	全庁に発信している「コンプライアンス通信」(人事課)で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を継続して周知するとともに、「コンプライアンス通信」(R4年6月号)及び「安全衛生だより」(R5年2月号)ではセクシュアルハラスメントの防止をテーマに取り上げ、周知啓発を行った。 また、各種研修会で周知を行い、職員のハラスメント防止に関する意識の向上に努めた(R4年7月実施　採用2年目職員研修、R4年8月実施　人事労務管理研修、R4年11月実施　新任副主幹研修)

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	11回	5点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保のため、今後も職員への周知啓発を継続する必要がある。

5. 成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができた。また、各種研修会で、参加職員に対し、より具体的な内容を伝える機会を設けたことで、効果的な周知啓発が実施できた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	3
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	若年層に対するデートDV等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	愛媛県、大学生ボランティアグループ、大学等と連携し、若年層に対するデートDV防止に向けた周知啓発活動を行う。被害者の多くは女性であることから、特に、11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には市内大学等において、広報活動を行う。			
数値目標	啓発人数（累計）300人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	若者のライフデザイン支援事業（主催：コムズ）を聖カタリナ大学で実施した際に、学生1人1人に啓発ティッシュを配布した。また、コムズのロビーでも運動期間中に啓発ティッシュの配布を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	300人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	予算の制限等もあり、啓発グッズとしてチラシ入りティッシュを作成しているが、より効果的なグッズを考える必要がある。

5. 成果	若年者への性暴力被害については、国も重点的に取り組んでいるため、大学生に直接周知できたことで少しでも啓発につながったと考えている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する学習会の実施			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	深刻な人権侵害であり、社会問題となっているDVの問題解決にむけた学習会を実施し支援を行う。			
数値目標	参加人数40人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	愛媛県男女共同参画センターとの共催で、特定非営利活動法人DV対策・予防センター九州理事長であり、前内閣府男女共同参画会議女性に対する暴力に関する専門調査会委員の原健一氏を招聘し、DV防止セミナー「暴力のない社会をめざして～DV加害者の心理と加害者プログラムを通して考える被害者支援～」を11月5日（土）に開催した。（対象：相談員、臨床心理士、産業カウンセラー、精神保健福祉士、警察官、養護教諭等、様々な相談支援に関わる専門職や教員等）

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	26人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	参加人数の増加をめざし、対象者が参加しやすい曜日を設定する等、企画立案に工夫をしていく。 また、令和4年2月に当財団が実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の分析結果から、配偶者からのDV被害で最も多かったのが精神的攻撃（50.4%）、3番目が経済的圧迫（27.5%）であり、被害を受けても誰（どこ）にも相談しなかった人が一定数いることがわかった。これらの市民の実態を踏まえ、学習内容を検討していく。

5. 成果	参加者アンケートでは、「加害者の心理、行動や加害者プログラムについて詳しく知ることができた」「DVと虐待の関係が論理的にわかった」等の感想が寄せられ、DV被害者の支援活動に資する学習を行うことができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する相談の実施			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	相談機関に関する情報を、チラシやパンフレット、ホームページへの掲載等で周知した。 令和3年11月から「こども・子育て・DVらいん相談＠まつやま」を開設し、相談体制の充実を図っている。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	30回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	相談の入り口を増やし、かつ相談しやすい環境づくりの一環として、メール相談（女性対象）の開設をめざす。

5. 成果	電話相談の新規相談者は前年度割れしていたため、相談室パンフレットを講座開催にあわせて配布し周知したことで、1月・2月の新規相談者は平均13名／月と前年度と同水準に戻った。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に対応する相談員の資質の向上			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	相談内容に適した対応を迅速且つ的確に実施するため、本市において応対する婦人相談員の専門知識と相談対応能力の向上に取り組む。			
数値目標	研修参加1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	「中国・四国地区婦人保護事業研究協議会」（オンライン開催）に婦人相談員1名が参加した。 「婦人相談員等研修会」（オンライン開催）に婦人相談員1名が参加した。 「配偶者暴力相談支援センター連携会議」（オンライン開催）に婦人相談員1名が参加した。 「配偶者からの暴力相談担当職員基礎研修」（オンライン開催）に婦人相談員1名が参加した。 「日本司法支援センター愛媛地方協議会」（オンライン開催）に婦人相談員1名が参加した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	5回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後は、婦人相談員が担う業務の拡大が予定されているため、さらなる知識や技術の向上等に努めていく。

5. 成果	協議会や研修等オンラインで開催されるようになり、定期的に参加・受講することができ、資質向上を図ることができた。また、参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を図ることができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	7
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	苦情の適切かつ迅速な処理			
担当	市民生活課			
事業概要	関係機関に寄せられた苦情等について、誠実に受け止め、適切かつ迅速に処理する。また、各課が窓口となっている苦情の受付では、より良い対応を行うため内閣府が発行しているガイドブックを活用する。			
数値目標	―			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	特に苦情等は寄せられなかった。 内閣府が作成しているガイドブックを担当職員で事例研究などに活用した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）		
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	特になし

5. 成果	実際に寄せられた苦情は無かったが、ガイドブックを活用することで他市の過去の状況等を把握するなどし、当市で同様の事例が発生した場合の対応などを検討することができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	8
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援庁内連絡会議の運営			
担当	子育て支援課			
事業概要	関係課で構成するDV被害者支援庁内連絡会において、被害者情報を速やかに共有する。また、支援の重要性を徹底し、支援方法や注意事項などについての情報を共有するとともに、職員の意識向上を図るために研修の機会を設ける。			
数値目標	研修開催1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	10月14日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会が開催され、各市町との情報共有を行った。 11月1日にDV被害者支援庁内研修会を開催し、公益財団法人えひめ女性財団の方を講師に迎え、学びを深めるとともに22の関係課との情報共有を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	2回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	庁内関係課の担当者に対し、DV支援に関する基本的な内容の研修を毎年実施しているが、スキルアップした内容の検討や担当者異動に伴う引継ぎにおいても、周知徹底を行っていく。

5. 成果	課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。外部講師を迎えた研修を行い、知識を深めるとともに、DV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	9
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用			
担当	子育て支援課			
事業概要	庁内全体で迅速かつ的確なDV被害者支援に努めるため、庁内支援体制についての対応マニュアルを適宜見直す。			
数値目標	マニュアルの確認1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	11月1日に開催したDV被害者支援庁内研修会において、「各課のDV支援と連携」や「関係機関によるDV支援」等を紹介し、担当者への周知徹底を図った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	関係課の担当者が変更となった際、新たな担当者に「DV被害者支援対応マニュアル」について、把握してもらう必要がある。

5. 成果	集合形式での庁内研修会の開催ができ、参加者には庁内でのDV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	10
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	関係機関との連携			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県や警察、県内市町などで構成する連絡会議での情報共有を行う。			
数値目標	連絡会議開催1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	10月14日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会が開催され、各市町との情報共有を行った。 11月21日に配偶者暴力相談支援センター連携会議がオンラインにて開催され、各市町の担当者と持ち寄られた議題について情報交換を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	2回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	庁内関係課とのさらなる連携が必要であり、相談の窓口となる婦人相談員の知識や技術の向上に努めていく。

5. 成果	参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	11
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	地域におけるDV等被害者の早期発見			
担当	市民生活課			
事業概要	地区防犯協会等と連携し、市民に対し、改正DV法や改正ストーカー規制法の周知啓発、相談機関に関する情報提供を行う。また、研修会の機会を通じて、松山市防犯協会推進員等に対し、周知啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	12月14日実施の「松山市暴力団排除推進連絡協議会・松山市防犯協会合同研修会」において、松山市福祉事務所子ども総合相談センター事務所の川口梅子相談員による研修を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	周知回数1回以上／年	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	現状では、対象者に対する周知の場が年に1回のみとなっている。

5. 成果	地域での自主防犯組織の代表者をはじめとした参加者に対し、有意義な周知ができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	12
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	市民一人一人の生涯にわたる心と身体の健康の保持増進を目標に、市民が主体的に健康づくりに取り組むための支援や、健康づくりのための環境整備を行う。			
数値目標	参加人数6,000人/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止に重点を置いて、各事業の実施時期を延期したり、定員の削減やオンラインなどでの開催等に変更するなどして実施した。 【実績】出前健康教育50人、住民参加型健康づくり事業25人、依頼健康教育43人、乳幼児健康教育216人、住民組織支援1,303人、合計1,637人

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1,637人	1点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	集団教育での男性参加は増えてきているが、未だ女性の参加率が高くなっている。 健康無関心層への周知啓発について、今後も検討が必要である。

5. 成果	生涯を通じた男女の健康支援は継続の支援が必要であるため、オンライン形式や感染症対策の徹底をするなどして、周知啓発を行った。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	13(27)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	自殺予防対策			
担当	保健予防課			
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課（46課50人程度）の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。			
数値目標	担当職員数（累計）200人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	自殺予防対策庁内担当者会を2回（8月、11月）実施し、延べ72人の担当職員が参加をした。1回目はゲートキーパーとして大切なことやセルフケアに関する講話を聞き、2回目では事例を用いたグループワークを行った。（R4年度までの庁内担当者職員数（累計）：317人）

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	317人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で自殺者数の増加が懸念されており、庁内関係課等の連携をより一層強化し、「生きることの包括的な支援」として自殺対策を推進することが必要である。

5. 成果	庁内各課のゲートキーパーとしての取組や庁内の連携強化について理解を深めてもらう機会になった。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	14
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	女性のための相談			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00（日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く）			
数値目標	相談件数1,200件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	女性電話相談：1,121件、女性面接相談：97件　合計：1,218件 相談の内容は「情報・暮らし」が最も多く15.8%であり、次いで「人間関係の悩み」13.6%、「健康」13.1%、「こころ」「出生家族の悩み」がともに12.2%であった。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1,218件	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	電話相談の新規相談者の人数が前年度比73.2%と減少したため、相談室の周知に努め、相談件数の増加をめざす。

5. 成果	相談員対象の事例検討会（年3回）において、対応に苦慮している相談者への関わり等について専門家から指導助言を受け、相談対応に生かすとともに、相談者をエンパワーメントする対応を心がけた。 一部の頻回相談者には週1回の相談であることの周知を徹底し、相談者の自立をめざした。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	15(26)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	男性のための相談			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第4土曜日に18:30～20:30　心理相談員1名が受け付けている。			
数値目標	相談件数70件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝38件、 男性面接相談＝27件　 合計65件 相談内容で、最も多かったのは「仕事上の悩み19件」(29.2%)、次いで「情報・暮らし18件」(27.7%)、「人間関係の悩み8件」(12.3%)、「夫婦関係の悩み7件」(10.8%)となっている。

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	65件	4点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	予約をしたにもかかわらず、無断キャンセルが22件と多く、相談件数が65件にとどまった。 無断キャンセルや頻回相談者の対応策として、予約方法を見直すこととする。

5. 成果	男性心理相談員が傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	16
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	(1)健康づくり推進課・(2)保健体育課・(3)保健予防課			
事業概要	(1) 児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。 (2) 小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。 (3) 市内の中・高生を対象にエイズ予防についての正しい知識を持ち、予防及び人権的配慮ができるように支援する。			
数値目標	参加人数（1）100人（2）5,200人（3）2,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	(1)大学生を対象に、助産師と保健師の講義を実施。現在の学生が直面する身体的な問題（月経トラブル・不正出血・ダイエット・受診への抵抗感）や今後経験しうる妊娠・出産について（平均時期・原理・妊孕率・高齢出産・不妊）、子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種、ライフサイクルやたばこ・アルコールの健康被害について周知啓発した。 【実績】松山東雲女子大学・短期大学の学生94名 (2)22校、計4,146人の生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び、性に関する講演会を実施したほか、小学6年生と中学2年生を対象に喫煙防止の授業で活用できるリーフレットを配布した。 (3)5校1,097人を対象にHIVとエイズの違い、性感染症、性的マイノリティー、デートDVなどについての内容で講義を実施した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	(1) 94人　(2) 4,146人　(3)1,097人	3.3点

※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄 (1)	(2)	(3)
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔	✔	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した		✔	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔	✔	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔	✔	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔		

4. 課題	(1)講義時間に比べてテーマごとの内容量が多かった。時間配分や受講者を飽きさせない工夫、情報の取捨選択を行う必要がある。 (2)性の講演会については同じ学校からの依頼が多く、講演は30回の予算で実施しているので、希望校が平等に講演を実施できるように検討していく必要がある。 (3)昨年度と比較すると受講者数は増加したが、今後も対面やリモート等その都度講演方法を検討し、受講者数の安定を図っていく必要がある。

5. 成果	(1)講義は大学生に対象を絞り、自身の生活にすぐ取り入れることのできる内容であったため、受講後のアンケートでは94%が参考になった、大変参考になったとの回答だった。また、女性の健康に関して幅広いテーマで講義を行ったため、より多くの人の興味関心を引き、自分の体について知ってもらう機会となった。 (2)性教育推進委員会では月経随伴症等の早期発見及び保健指導の実施に取り組み、精神保健対策委員会ではR5年度から「てんかん対策委員会」の運営を開始することができた。また、喫煙防止リーフレットについても男女共同参画に配慮した内容で配布することができた。 (3)講義を通して「エイズ検査が保健所で無料匿名で受けられるとわかった」「コンドームをつけるなど、自覚をもって対策したい」などの感想があり、エイズの予防に関する知識などを啓発することができた。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	17
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	エイズ等特定感染症対策事業			
担当	保健予防課			
事業概要	HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査等の特定感染症検査及び相談を実施するとともに、正しい知識の普及啓発を実施。			
数値目標	検査及び相談数3,500件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	HIV抗体検査204件、電話・来所相談189件、肝炎ウイルス検査820件、風しん抗体検査703件を実施。HIV検査普及週間(6月1日～7日)、世界エイズデー(12月1日)に合わせて、関係機関や高校、大学、専門学校、風俗店などに対してエイズ相談のフライヤーやエイズ・性感染症に関するリーフレットを送付。また、世界エイズデー(12月1日)にあわせて愛媛県中予保健所、南海放送と共催でオンラインキャンペーンを実施し、クイズ正解者115名に対してチャーム等を送付した。

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	約1,914件	3点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、世界エイズデーの街頭キャンペーン等が開催できていない状況であるため、5類移行後は街頭キャンペーンの再開など、より多くの市民に周知していく必要がある。 また、令和5年6月よりエイズ相談が全面的に再開する予定であり、再開後は再開の情報など多くの人に伝わるように周知していく必要がある。

5. 成果	エイズ相談は匿名かつ他の来所者と顔を合わせないようプライバシーに配慮して実施している。電話・来所相談ともにパートナーとの性生活など幅広く相談を受けており、正しい知識の普及啓発をおこなった。 また、世界エイズデーに合わせて実施したオンラインキャンペーンでは、クイズに参加した幅広い世代の方に対して啓発をすることができた。また、アンケートにて市民の方がどのようなことに疑問を持っているか知ることができたため、今後の啓発に生かしていきたい。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	18
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-3	母子保健の充実		
事業名	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	母子の健康の保持増進及び育児支援を図るため、妊娠期・乳幼児期の遺伝・育児・栄養などに関する健康教育や健康相談、訪問指導を実施し、また、心身のつまずきのある幼児とその保護者を対象の療育指導を行うことにより発達を促し、育児不安の軽減を図る。①マタニティ相談会②パパ・ママのための教室 ③すくすく相談④モグモグ相談 ⑤発達相談 ⑥かんがる一クラブ ⑦なかよし教室 ⑧5歳児相談 ⑨訪問指導（こんにちは赤ちゃん訪問含む）⑩松山市母子保健推進員養成講座 ⑪遺伝相談			
数値目標	参加人数16,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	①マタニティ相談会1人、②パパ・ママのための教室84人、③すくすく相談4,431人、④モグモグ相談762人、⑤発達相談345人、⑥かんがる一クラブ51人、⑦なかよし教室241人、⑧5歳児相談113人、⑨訪問指導（こんにちは赤ちゃん訪問含む）5,798人、⑩松山市母子保健推進員養成講座83人、⑪遺伝相談2人が参加。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	11,911人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	生涯を通じた男女の健康支援に加え、父母で子育てするための契機づくりや、男女共同参画の意識啓発を各事業を通じて行っている。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から参加者の人数制限や外出行動の自粛などが影響し、参加数がやや低めとなっており現状では致し方ないと考えている。今後は新型コロナウイルス感染症の流行状況によって、従来通りに事業を実施することを考えている。
5. 成果	生涯を通じた男女の健康支援のために、各事業をオンライン化するなど、新型コロナウイルス感染流行期でも事業を継続する工夫をした。継続的に実施することで参加者の支援につながり、成果につながると思われる。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	19
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-1	情報活用能力（メディア・リテラシー）の向上支援		
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	インターネットは、手軽に情報受発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年（50学級）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度のインターネット安全教室について、前年度末に市内の小中学校に受講の勧奨を行った。 その結果、NPO法人日本ガーディアンエンジェルス松山支部によるインターネット安全教室を39教室（小学校のみ）と、愛媛県警人身安全対策・少年課による情報モラル教室を26教室（小学校19、中学校7）の計65教室実施した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	周知回数1回／年（65教室）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	インターネット安全教室について、議会等で内容が平易すぎるなどのご意見をいただいた。 ご意見をもとに、学校教育課を通じて現場のニーズを把握した上で、講座の内容について協議を行う。

5. 成果	インターネットにほとんど触れたことのない児童・生徒に対して、正しい利用法や危険性、及び危険に晒された場合の対応を周知・啓発できている。 アンケート結果からも好意的な意見が多くあり、先生からも是非毎年実施したいとの声をいただいている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	20
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-2	公的広報等で男女共同参画の視点に立った表現の促進		
事業名	男女共同参画の視点からの公的広報の実施			
担当	市民生活課			
事業概要	公的広報（広報やホームページ、その他市が発行する印刷物等）においては、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められている。平成25年度に改定した「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の内容を市役所の各部局等に周知し、松山市が発信するあらゆる情報について男女共同参画に配慮した表現を推進する。また、必要に応じて適宜手引きの見直しを実施する。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	公的広報の手引きの見直しを行い、改定した。また、改定した内容を各課に周知した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	各課がチラシやホームページ、パンフレットなどすべての広報物を作成する際に参考にしてもらうために、さらに認知度を上げて活用してもらう必要がある。

5. 成果	他市の手引き等も複数研究し、現代に合わせた内容に改定を行うことができた。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	21
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	コムズフェスティバルにおいて、市民グループ等が主体となり、男女共同参画に関する講演会・学習会等を市民企画分科会として実施する。分科会の企画立案や準備にあたっては、有識者やセンター職員が男女共同参画の視点からアドバイスを行うとともに、実行委員相互の交流を深める機会とする。			
数値目標	参加人数600人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	市民企画分科会は9団体が選考審査会を経て実施し、希望の団体は愛媛CATVの協力により収録放送を行った。報告交流会では3月18日(土)に開催し、全9団体が出席し、有識者からの指導助言とともに、今後の活動に向けて情報交換を行った。 基調講演はイラストエッセイストの犬山紙子氏を講師として招聘し、来場参加者数95名、YouTubeによるライブ配信と録画配信による視聴回数は106回であった。 また新規の取組として、松山北高等学校家庭クラブとの共催で高校生対象のイベントを開催した。

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数422人(愛媛CATV視聴者数:不明)	3点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	令和4年度は2年ぶりに集客開催をすることができたが、基調講演や市民企画分科会の参加人数は、コロナ前の実績に及んでいない。 次年度はコロナの影響も軽減されることが見込まれるため、参加人数の増加をめざして、市民企画分科会に新規で参加する市民団体を発掘していく。

5. 成果	コロナを契機として、開催方法にYouTubeを活用したり、愛媛CATVの協力の下、ケーブルテレビでの放送やインターネット配信と、コロナ前よりも多彩な取組を行っている。 また、市民企画分科会においては、選考審査会及び報告交流会における有識者による助言や、これまでの継続した分科会への参画により、充実した魅力ある内容となっている。 さらに今年度は、高校生イベントを実施したことにより40名近い高校生が参加し、活発な意見交換が行われるとともに、学校が異なる生徒同士の交流も生まれ、大変好評を得た。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	22
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	男女共同参画に関する情報の収集及び提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	図書・資料の収集や提供、情報誌「コムズ」の発行、インターネットを活用した広報活動、学習資料の作成等を行う。			
数値目標	周知回数60回以上／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	・男女共同参画の視点で書かれた図書等を19分野に分類し配架している。令和4年度の貸出冊数は5,954点と前年度比128.2%であった。 ・情報誌は令和4年に「産後パパ育休」が創設されたことを受け、「まどんな応援事業所」から育児休業を1カ月間取得した男性2名を招聘した座談会を開催し、その内容を特集記事としてまとめた（年1回発行）。 ・ホームページは講座案内や図書紹介等、随時更新（111回）。Facebookは新たな情報が入り次第更新(74回)。 ・令和5年2月には新たにInstagram、Twitter、公式LINEを開設し、講座の参加募集や相談事業の周知等、随時情報発信を行った（Instagram、Twitter、公式LINE合計20回）。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	周知回数206回／年	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大及びそれによるセンターの休館により減少していた貸出冊数が徐々に元に戻りつつある（令和元年度：6,725冊、令和2年度：5,608冊、令和3年度：4,122冊、令和4年度：5,954冊）。情報発信の内容やタイミングを効率的に行っていくことで、貸出冊数をコロナ前の水準に戻していく。

5. 成果	新たなSNS（Instagram、Twitter、公式LINE）を開設したことにより、主催事業の講師によるSNSでの講座告知が可能となり、集客へとつながった。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	23
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	人権啓発推進員の養成			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内41地区公民館等から推薦された方を「人権啓発推進員」に認定し、人権教育・啓発に関する地域のリーダーとしての資質の向上、意識の高揚を図ることにより、各地域における人権教育推進の組織整備・充実を目指すとともに、豊かな人権感覚と男女共同参画意識の拡大に努める。			
数値目標	認定者数1,000人（男性600人女性400人）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	人権啓発推進員経験者研修（2回） 　人権教育・啓発推進リーダーとしての誇り 人権啓発推進員養成講座（4回） 【第1回】様々な人権問題を解決するために～コロナ差別解消に焦点をあてて～ 【第2回】つながるペダルで共生社会を目指していく 【第3回】あんたも差別者よ！わしも多くの差別をしとるんよ ～出会い・気づき、考え、行動、感動し変化を観察しそれを愉しむ～ 【第4回】「幸せ」を招く人権啓発の実践 ―お互いの人権が尊重される松山市を目指して―

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	認定者数947人（男性580人女性367人）	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	人権啓発推進員による地域活動実施回数は、前年度とほぼ同数であり、新型コロナウイルス感染拡大前と比べると3分の1程度となっている。今後も、性別等に捉われず、活動が増えるよう、引き続き啓発活動を行う。

5. 成果	新型コロナウイルス感染拡大対策のため、今年度から初めて申込み制にして、各講座の受講者数を事前に把握することとした。また、受講者間の距離の確保や座席の消毒など、感染症対策を万全に講じて、予定どおり計6回の講座を実施することができた。 参加者からは、「コロナで大変ですが、やはり講演会はいいですね。思いが伝わります。」、「久しぶりに先生の熱い思いに触れさせていただき、感動しました。」といった感想をいただいた。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	24
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-2	性別役割分担意識に基づく社会制度・慣行の見直し		
事業名	男女共同参画に関する各種実態調査			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画の推進のために、「男は仕事、女は家事育児」等、性別による固定的役割分担意識等の男女共同参画に関する市民の意識や、生活実態について、調査・分析を行う。分析結果は、事業展開や啓発活動の内容等を検討するための基礎資料とするとともに、市民に対し公表する。			
数値目標	―			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和3年度に、松山市在住（住民登録している）の20歳から79歳までの男女3,000人を無作為抽出し実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の集計結果について、有識者を委員とする検討・分析委員会を5回開催し、報告書及び概要版を作成した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	―	―
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	報告書及び概要版をホームページや各種SNSで公表したり、出張講座や主催事業の参加者に周知する等、松山市民の意識と実態について、広く市民に知っていただく取組を行っていく。

5. 成果	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	25(44)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとっての男女共同参画		
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。			
数値目標	参加人数45人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度は上半期、下半期にそれぞれ2回ずつ開催した。 参加者数は、上半期の第1回「キャンプ講座」12名、第2回「洗濯講座」16名、下半期の第1回「整理整頓講座」13名、第2回「料理講座」13名であった。 いずれも、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	54名（4回合計）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	引き続き、男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。 また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりをもつきっかけづくりとなる内容にしていく。

5. 成果	参加者アンケートでは、参加者の9割が「参加して(大変)良かった」と回答し、「学んだことを役立てたいと思った」「他の参加者との交流、つながりをもつことができた」といった回答も多く得ることができた。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	26(15)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとっての男女共同参画		
事業名	男性のための相談【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第４土曜日に18:30～20:30　心理相談員1名が受け付けている。			
数値目標	相談件数70件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝38件、 男性面接相談＝27件　 合計65件 相談内容で、最も多かったのは「仕事上の悩み19件」(29.2%)、次いで「情報・暮らし18件」(27.7%)、「人間関係の悩み8件」(12.3%)、「夫婦関係の悩み7件」(10.8%)となっている。

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	65件	4点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	予約をしたにもかかわらず、無断キャンセルが22件と多く、相談件数が65件にとどまった。 無断キャンセルや頻回相談者の対応策として、予約方法を見直すこととする。

5. 成果	男性心理相談員が傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	27(13)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとっての男女共同参画		
事業名	自殺予防対策【再掲】			
担当	保健予防課			
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(47課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。			
数値目標	担当職員数(累計)200人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	自殺予防対策庁内担当者会を2回(8月、11月)実施し、延べ72人の担当職員が参加をした。1回目はゲートキーパーとして大切なことやセルフケアに関する講話を聞き、2回目では事例を用いたグループワークを行った。欠席者へは資料の送付を行い、自殺予防対策に関する情報共有を行った。 R4年度までの庁内担当者職員数(累計):317人

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	317人	5点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で自殺者数の増加が懸念されており、庁内関係課等の連携をより一層強化し、「生きることの包括的な支援」として自殺対策を推進することが必要である。

5. 成果	庁内各課のゲートキーパーとしての取組や庁内の連携強化について理解を深めてもらう機会になった。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	28(63)
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進		
実行項目	2-2-1	国際交流の促進		
事業名	国際性豊かな人づくり			
担当	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）			
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※（公財）松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。			
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加者数100人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和4年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）		
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和4年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	29
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進		
実行項目	2-2-2	国際協調・国際理解の推進と平和への貢献		
事業名	平和への取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	「北京宣言及び行動要領」で示された「平等・開発・平和」の目標を達成するため、本市では戦争遺品を展示する「平和資料展」や、市文化財となった「掩体壕」を活用し、平和の尊さや大切さについての理解を広げていく。			
数値目標	平和資料展来場者数6,300人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	【平和資料展】令和4年7月20日～26日に松山市総合コミュニティセンターで開催した。松山市が保管している戦争遺品や市民から寄贈していただいた遺品、写真やパネルを展示し、平和に関するビデオを終日上映した。 【掩体壕】平成30年5月に掩体壕が松山市指定文化財に指定され、令和2年度に保存整備工事を実施し、令和2年11月28日から一般公開をした。令和4年度は約420名の方が見学を実施した。 【掩体壕と資料展見学会の実施】小中学生・保護者を対象に見学ツアーを令和3年度から実施。令和4年度は6組15名が参加した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	3,400人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	掩体壕の利活用、平和資料展を実施して、戦争を知らない若い世代（小中学生）に対して、平和の尊さや大切さを伝えていく。

5. 成果	平和資料展来場者数 約3,400人 コロナ禍の影響から来場者数はコロナ前と比べると少ないが、小中学生を中心に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えることができた。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	30
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-1	審議会等への女性の参画促進		
事業名	女性登用率の向上促進			
担当	市民生活課			
事業概要	市の施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、本市の審議会等への女性の参画を進める「女性登用計画」を策定し、計画的に登用を進める。また、様々な分野で活躍する女性を登録した「松山市女性人財情報リスト」の充実を行う。			
数値目標	女性登用率40%			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	各課等が委員を委嘱する際に市民生活課を合議先として入れてもらい、登用率の進捗状況を随時確認した。 自己目標に達成していない審議会等については、委嘱の前に事前協議を行い、理由や今後の方針などについて協議した。 女性人財リストの充実に努め、女性の人選に対して希望があった課に提供した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	44.7%	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	市全体でみると女性登用率は高くなったが、審議会によっては人材不足等によりいまだ低い数値のところもある。

5. 成果	各課等の取組により、女性登用率がさらに向上し、過去最高となった。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	31
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	男女共同参画に関する研修制度の充実			
担当	人事課			
事業概要	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、障がい者福祉施設での体験研修を実施する。また、出産育児支援説明会を開催する。			
数値目標	研修参加人数400人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、出産育児支援説明会を開催した。 なお、障がい者福祉施設での体験研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	424人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法を検証する必要があった。

5. 成果	新型コロナウイルス感染症に配慮し、研修規模を適正化して下記研修及び説明会を実施し、男女共同参画意識の徹底を図ることができた。 ◯新規採用職員研修（障がい者対応研修）（91人受講） ◯採用2年目職員研修（職員として身に付ける人権の基礎基本）（81人受講） ◯障がい者雇用に関するインストラクター研修(2人受講) ◯新任課長研修(障がい者差別解消法研修・女性活躍推進研修)(36人受講) ◯人事・労務管理研修（性の多様性についての研修）（82人受講） ◯新任副主幹研修（性の多様性についての研修）（75人受講） ◯キャリアデザイン研修（20人受講）※女性職員向け ◯出産育児支援説明会(22人受講　2人資料配布) ◯育児休業復帰支援相談会(15人受講　7人資料配布)

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	32
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進			
担当	人事課			
事業概要	松山市では、一部の小規模な部署を除き、全部署において女性職員を配属している。定期人事異動において女性職員の職域拡大を引き続き実施するとともに、女性職員の管理職登用の促進に努める。			
数値目標	10%以上			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	職務経験を通じたキャリア形成を支援するため、女性職員の職域拡大に努め、補助的・定型的業務に長期間継続して配置しないよう配慮した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	11.4%	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	課長級以上の管理職を担える世代の女性職員の人数が未だ少ない点。

5. 成果	女性職員自らが意欲アップ、能力アップにチャレンジできる職場環境の構築に繋げた。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	33
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	インターンシップ及び市役所業務説明会等			
担当	人事課			
事業概要	多様な人材を確保するため、インターンシップや業務説明会を通じて、広く学生に対して市行政についての理解を深める機会を提供する。			
数値目標	インターン人数46人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	多様な人材を確保するため、インターンシップでは、昨年度に引き続き、技術職向けのコースを拡充するなどして実施した。また、業務説明会をオンライン開催するとともに、対面でも開催し、学生等の多様なニーズに対応できる方法で、広く市政情報や業務内容等についての理解を深める機会を提供した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	105人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。 近年、採用試験の申込者が減少傾向にある技術職等に特化した機会を増やす必要がある。

5. 成果	インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施し、受け入れ数の数値目標は達成し、市政への理解を深める機会を提供することができた。 業務説明会については、オンライン開催により遠方に住む学生等に対しても広く松山市役所の業務内容を周知できた。また、対面開催では、松山市に興味がある学生等に若手職員との交流の場を提供し、業務内容に加えてやりがいや働き方など、学生等が知りたい情報を提供できた。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	34
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画			
担当	人事課			
事業概要	女性活躍推進法に基づいた特定事業主行動計画を策定し、女性職員の活躍推進に向けた取り組みを行う。行動計画に沿って取り組むことで、女性職員だけでなく、男性職員にとっても働きやすく、働き甲斐のある職場環境の構築を目指し、組織力の強化を図る。家庭との両立、昇任への不安などを抱える女性職員については先輩職員を含めた交流会を行い、アドバイスをもらいながら、働き方やワーク・ライフ・バランス、キャリアアップについて一緒に考えるなど、個々のキャリア形成を支援する。			
数値目標	―			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和3年度に引き続き、働き方改革プロジェクトチームを設置した。様々な年齢・職階の17名（男性13名、女性4名）の職員が参加し、施策を提案した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	―	―
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症対策の長期化により、働き方に対する職員の意識が多様化している。

5. 成果	提案のあった施策は、可能なものから実現に向けて進めており、令和4年度は、手引書「庁内照会のはなし」を作成し、庁内照会事務の効率化を周知啓発するなど、働きやすい職場環境づくりの構築に繋げることができている。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	35
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	女性の活躍推進（ジョカツ）			
担当	男女共同参画推進センター・市民生活課			
事業概要	各方面で活躍する女性リーダーの育成及びネットワークづくりを行うとともに、ロールモデルや取り組みを紹介するなど女性の活躍推進（ジョカツ）の機運醸成を図る。			
数値目標	ジョカツ関連講座等の開催1回／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	『「知る」からはじめる自分デザイン塾』第1回では、「26歳で起業した経営者が語る！社会課題と組織課題の交差点とは？」と題し、20代で起業した女性経営者を招聘しご講演いただいた（参加人数19名）。 また、第3回「働き方改革に取り組む企業に聞く組織も人も成長する職場の極意」にて、女性も男性も能力を発揮しやりがいをもって働き続けることができる職場づくりに取り組む「まどんな応援事業所」に所属する女性管理職を講師として招聘しご講演いただいた（参加人数22名）。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	ジョカツ関連講座等の開催2回／年	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	参加人数を増やし、若い世代の参加も引き続き促すために、SNSを活用した広報活動に取り組んでいく。

5. 成果	著名な女性経営者や一部上場企業で管理職として能力を発揮している女性を講師として招聘することで、女性リーダーのロールモデルを呈示することができた。 また、20代～40代の割合が第1回41.2%、第3回38.1%と、通常より若い世代の参加が多かった。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	36
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	人材育成に関する講座			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画について基本的な知識を有し、家庭・地域・職場など様々な場で、男女共同参画の視点を持って活動することができる人材を育成するために、連続講座を開催する。			
数値目標	参加人数350人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	連続講座は、『「知る」からはじめる自分デザイン塾』（全3回）を6月から7月にかけて来場参加・オンラインのハイブリッド型で開催（参加人数61人）。 公開講座は、11月に弁護士の太田 啓子氏を講師に「弁護士ママがこれからの男の子たちへ伝えたいこと～「男の子あるある」ってホント？「らしさ」を押しつけない子育てとは！？～』」というテーマでハイブリッド型及び録画配信で開催（参加人数19名、録画配信視聴回数152回）。 3月には、「多様性を活かす組織の必須トレーニング～無意識の思い込みをなくし、職場の活性化をめざす～」をハイブリッド型で開催（参加人数28名）。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	参加人数260人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	内容は、アンコンシャス・バイアスの解消や多様性の尊重、働き方改革など、ジェンダー平等についてわかりやすく学ぶものだったが、参加人数が目標に達することができなかった。 参加人数を集めることと効果的なプログラムの実施を両立できるよう、対象者や広報活動を工夫していく。

5. 成果	20代～40代の割合について、『「知る」からはじめる自分デザイン塾』は、第1回41.2%、第3回38.1%と通常より若い世代の参加が多かった。 公開講座では、会場参加・Zoom参加・録画配信のすべての参加方法を合わせて、10代が5.9%、20代～40代が60.8%と非常に高い結果となった。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	37
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成（消費生活モニター）			
担当	市民生活課			
事業概要	商品の試売調査、実習、学習会を行い、地域のリーダーとして消費生活の向上改善に協力する消費生活モニターを育成する。			
数値目標	会議開催回数6回			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和2年度で事業を終了した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	―	―
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	―

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	-

5. 成果	これまでの消費生活モニターは延べ約900名

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	38(76)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成（女性防火クラブ）			
担当	地域消防推進課			
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。			
数値目標	実施地区37地区			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度中に松山市内39地区で地区研修会を実施した。DVD視聴や防災講話の聴講を通じて防災意識を高めた。そのほか、女性ならではの視点を活かし、避難所運営訓練や応急救護訓練などに参加して訓練を効果的なものとした。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブ等に出向き、紙芝居等を使用して防火・防災教育を行うなど、啓発活動を実施した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	実施地区39地区	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各地区での活動が小規模になっているため、今後は他団体と連携した訓練・研修を積極的に実施し、地域の繋がりを強化していく必要がある。

5. 成果	一年間を通して各地区の保育園・幼稚園や児童クラブ等で防災紙芝居等を使用した防災教育を実施した。令和4年度中に、幼稚園・保育園では合計26園・2,296人の園児に、児童クラブでは合計25クラブ・767人の児童に対して防災教育を実施した。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	39(90)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。			
数値目標	参加人数400人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	「男のスキルアップ講座」(全4回・5月～10月):延べ参加人数54人 「親子でトライ！女の子の未来をひらくサイエンス教室」（8月):38人(親子17組) 「ママのHappyが子どものHappy！」(全3回・10～11月):延べ参加人数62人 「わたし流生き方セミナー」(全2回・12月、1月):延べ参加者数55人

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数209人	3点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。

5. 成果	ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	40
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	地域における男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	各催事等に出展したり、女性の様々な生き方や男女共同参画の視点で作られた映像作品を上映したり、男女共同参画や女性の能力活用について意識啓発を行う。			
数値目標	周知回数7回			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	・県民大会や人権啓発フェスティバルといった県/市主催の催事に参加し、意識啓発に努めた(2回)。 ・例年、年間4回開催している映画上映会における新しい取組として、若い世代の参加を促すために、夏休みに3週連続で開催する「夏休み映画祭」を実施した。第1週は、女性が経済的に自立するのが難しい時代に、小説家として自立することをめざす女性を主人公にした作品を上映し、松山市在住の小説家・宇佐美まことさんをトークゲストとして招聘した(112人)。第2週は、親子向け作品を上映し、併せて「認定絵本士」の資格を持つ松山東雲大学の学生におはなし会を実施していただいた(200人)。第3週は、トランスジェンダーの女性が登場し、家族のあり方を考えさせる作品を上映し、日常に潜む偏見や生きづらさに気づきながら、自身や周りのことを振り返るきっかけを提供した。(90人)。 ・2月開催のコムズフェスティバル映画祭「シネマ&トーク」では、男性の不妊治療をテーマにした作品を上映し、原作者ら不妊治療の経験者を招聘し、スペシャルトークを実施した(91人)。

2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数6回	4点
※達成度　0%(0点)　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%(3点)　80%～99%(4点)　100%以上(5点)		

3. 男女共同参画への配慮度　(0～5点)	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年参加している催事が中止になったことで、パネル展示の出展回数が減少したが、今後は、各種SNSを活用した意識啓発を内容とする情報発信もあわせて行っていく。

5. 成果	催事の出展により、当センターの取組を知らない市民に向けて事業の周知を図ることができた。 映画上映会のアンケートでは、「女性の経済的自立が困難であった時代があったことを知ることができ、これからの生き方の参考になった(50代・女性)」など、映画やトークの内容から、男女共同参画について考えていただくことができた。また、未就学児向けの映画上映会では、会場設営や企画を工夫し、多くの親子連れに気軽に参加していただくことができた。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	41
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	まつやま農業者セミナー			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。			
数値目標	参加人数（累計）90人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	農業者と行政や各関係機関で他市町の農業への取り組みを視察し、意見交換会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、応募参加者少数のため、中止となった。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）		
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	

5. 成果	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	42
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-3	地域活動への参加促進		
事業名	地域のまちづくりへの女性参画促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、地域のまちづくりに関する話し合いや取り組みを行っている。今後、地域のまちづくりを一層充実したものにしてくためには、さらなる女性の参画が不可欠である。地域のまちづくりを支援する観点から、各地域で女性が参画しやすい環境づくりに取り組む。			
数値目標	啓発と女子会開催支援2回以上/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、例年開催していた「まちづくり女子会」を開催できなかったが、過去の女子会等で要望のあった「広報」をテーマとした「チラシづくり講座」について、人数を制限して2回開催した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	講座を年2回開催した。	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、集まっての会議が止まっていたため、動き出し始めは参加者に理解をいただく工夫が必要である。

5. 成果	「チラシづくり講座」の参加者は、13名中7名が女性だった。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	43
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-4	地域で活動する団体等の支援・連携促進		
事業名	市民活動団体等に対する支援・連携促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	市内全域において公益活動を行っている、NPO等市民活動各団体に対し、支援を行い、連携を促進する。			
数値目標	周知啓発1回以上/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	NPOサポートセンターで8回開催した基礎講座において、講師に積極的に女性を採用するほか、講座のパンフレットにも女性の市民活動への参加を連想させる工夫を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	周知啓発4回/年	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	セミナー参加者を増やし、更なる周知啓発に努める工夫が必要である。 また、講座の実施回数を増やすことができるよう、オンラインでの実施をこれまで以上に検討する必要がある。

5. 成果	NPOなどの活動を通じて、女性の積極的な市民活動への参加を促したほか、NPO活動の中心的な役割を担うことに繋がると期待できる。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	44(25)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-1	男性中心型労働慣行の見直し		
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。			
数値目標	参加人数45人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度は上半期、下半期にそれぞれ2回ずつ開催した。 参加者数は、上半期・第1回：キャンプ講座（12名）、上半期・第2回：洗濯講座（16名）、下半期・第1回：整理整頓講座（13名）、下半期・第2回：料理講座（13名）であった。 いずれも、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	54人（4回合計）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	引き続き、男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。 また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりをもつきっかけづくりとなる内容にしていく。

5. 成果	参加者アンケートでは、参加者の9割が「参加して(大変)良かった」と回答し、「学んだことを役立てたいと思った」「他の参加者との交流、つながりをもつことができた」といった回答も多く得ることができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	45
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	男女雇用機会均等法の周知・啓発			
担当	地域経済課			
事業概要	・男女雇用機会均等法等に関する周知を「未・来Jobまつやま」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法に係る啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。			
数値目標	セミナー参加社数150社（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	これまでの就労支援施設（未・来Jobまつやま）から創業経営支援施設（松山しごと創造センター）へと支援内容が変わり、セミナー等での周知はできなかったが、労働局の均等法に係る啓発用チラシ等を課内に設置した。 まつやま就活支援ナビを運営し、雇用に関する支援・施策情報を発信した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	0社	0点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	就労支援を県市が連携して実施しており、今後も雇用関連の啓発や相談・案内を県市が連携して実施していく必要がある。

5. 成果	啓発用チラシの設置やまつやま就活支援ナビにより、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	46
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座			
担当	人権啓発課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に年6回の研修を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標	セミナー参加社数150社（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	人権啓発講座（6回）を実施した。 【第1回】企業の社会的責任・企業倫理 【第2回】愛媛県の外国人の状況 【第3回】SNSによる人権侵害 【第4回】公正な採用選考について 【第5回】男女共同参画もっと進め講座 【第6回】障がいのある人を生かす企業をめざして

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	セミナー参加社数81社	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会場とオンライン視聴の併用開催としたが、オンライン環境が不安定な回もあった。

5. 成果	前年度の受講後アンケートの結果をもとにテーマ設定し、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場とオンライン視聴の併用開催としたことで、目標としていた6回の講座を実施することができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	47
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及活動（企業・事業者・団体等）			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	企業が、子育て世代の仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な人材の活用を進め、効率的で生産性の高い職場を実現できるよう、企業を対象とした講座やワークショップを行い、ワーク・ライフ・バランスの積極的推進について呼びかける。			
数値目標	企業等への講師派遣回数7回			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	事業所が希望するテーマに応える形で講師を派遣した（6回）。 事業所のニーズとしては、「職場内のコミュニケーション」等であったが、それぞれの講座の中でワーク・ライフ・バランスについても触れ、意識啓発に努めた。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	企業等への講師派遣回数6回	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	「ワーク・ライフ・バランスの充実」は仕事と家庭の両立にとって重要であるため、チラシやホームページ、各種SNSで出張講座の周知を行うとともに、職員研修の機会として利用していただけるよう、プログラムの充実を図る。

5. 成果	令和4年度は6事業所から出張講座の依頼があり、「ジェンダー平等」「男女共同参画とアンコンシャス・バイアス」「良好な人間関係を築くためのコミュニケーション」など様々なテーマで実施し、市民ニーズに応えることができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	48
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	ワーク・ライフ・バランスや女性の登用・職域拡大等、女性の活躍推進に積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。			
数値目標	認証企業数80社			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	ホームページやフェイスブック等で認証事業所の取組状況を紹介した。 認証事業所から若手社員を派遣していただき、若者のライフデザイン支援事業の交流会で大学生に仕事と家庭の両立等について話す機会を作っているため、大学生のニーズに合った事業所を紹介できるよう、新規事業所の獲得に努めた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	認証企業数87社	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新規申請数が伸び悩んでいるため、事業所に対してニーズ調査を実施し、認証制度の再設計をめざす。

5. 成果	自主的な申請が1事業所からあり、女性活躍や男性の育児休業取得についての関心の高まりを感じることができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	49
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	まどんな応援企業の周知啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。			
数値目標	若年層への周知回数　1回／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	ホームページやフェイスブック等で認証事業所の取組状況を紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」において、聖カタリナ大学 社会福祉学科及び聖カタリナ短期大学部 保育科の学生（100名）に周知した。 また、まどんな応援事業所の2事業所から、育児休業を取得した男性職員を招聘し、経験談をお聞きした。 そのインタビュー記事を年1回発行する情報誌COMSに掲載し、市内各所や講座参加者へ配布した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	2回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	コムズ主催事業や情報誌において、まどんな応援事業所の周知啓発をより積極的に行い、認知度の向上をめざしていく。

5. 成果	認証企業87社をコムズホームページ等で紹介した。 育児休業取得男性2名の経験談を情報誌に掲載し、市内各所や講座参加者に配布し、新制度「産後パパ育休」を周知した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	50
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の普及促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行い、必要性やメリット等について周知を行う。			
数値目標	参加人数100人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	『「知る」からはじめる自分デザイン塾』第3回では、「働き方改革に取り組む企業に聞く組織も人も成長する職場の極意」と題して、女性も男性も能力を発揮しやりがいをもって働き続けることができる職場づくりに取り組む「まどんな応援事業所」の、女性管理職を講師として招聘しご講演いただいた（参加人数22名） 「男のスキルアップ講座」では、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的に、男性が気軽に参加してもらえるテーマ設定で、キャンプ講座（12名）、洗濯講座（16名）、整理整頓講座（13名）、料理講座（13名）を実施した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	参加人数76人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」についての理解が進む中、市民ニーズに応えることのできる講座企画をより一層進めていく必要がある。

5. 成果	オンライン開催や定員を少なくして開催するなど、新型コロナウィルス感染拡大の影響下においても講座を実施し、女性、男性それぞれが家事参画やプライベートの充実を図ることに寄与できた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	51
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の普及促進		
事業名	メンターの育成			
担当	市民生活課			
事業概要	実施計画の事業を担当する課の若手職員で構成される「ワーキング・グループ」メンバー自らが実践者（ロールモデル）となり、また、将来の良き助言者・指導者（メンター）となれるよう男女共同参画に関する学習機会を提供する。			
数値目標	会議開催1回以上/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	5月にワーキンググループ研修会を実施した。コムズ館長を講師に迎え、男女共同参画の現状についての講演を行った後、男女共同参画基本計画改定のための作業手順などを説明した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	ワーキンググループのメンバーでも、なぜ自分の課の事業が男女共同参画推進と関係しているのか理解している人は少なく、意識の醸成が十分でないと感じるため、担当課として周知啓発等の方法をさらに工夫しなければならない。

5. 成果	ワーキンググループメンバーへのアンケートでは、男女共同参画推進とは何かや、事業との関連性を理解したと回答した人が多かった。また、還元研修を行った人も4割近くおり、さらなる広がりが期待できる。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	52(82)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の普及促進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	若年層への周知回数　1回／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	家庭内性別役割分担の国際比較を専門とされているお茶の水女子大学理事・副学長の石井クンツ昌子氏を講師として招聘し、聖カタリナ大学社会福祉学科（57名）聖カタリナ短期大学保育科（43名）を対象に基調講演を開催した。 また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる「コムズまどんな応援事業所」の若手職員が登壇する交流会（質問会）を実施し、聖カタリナ大学社会福祉学科（54名）聖カタリナ短期大学保育科（41名）が参加した。 ＊いずれも新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	会場となる大学以外の市内3大学の学生にも参加を呼びかける予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、実施大学の学生のみを対象とすることに変更した。 令和5年度は、より多くの学生に参加していただけるよう準備を進めていく。

5. 成果	基調講演では、身近にあるジェンダー・バイアスに気づき、男女共同参画について学ぶ大切さを認識する機会となった。 また、交流会では、参加学生の就職先として多い職種（保育士、社会福祉士）の登壇者をお招きしたことで、学生がより具体的に自分の将来について考えるきっかけを提供することができた。 事後アンケートでは、「ライフデザインを考える参考になった」と回答した学生が9割にのぼった。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	53
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	家族経営協定の推進			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	農業の担い手である女性の役割分担の認識を図るとともに、男女のお互いがパートナーであることを尊重しあうために、家庭内の役割を分担し、労働時間、家族行事等の協定（家族経営協定）の締結を推進する。			
数値目標	締結数（累計）30件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	家族経営協定締結件数　4件【累計締結数　263件】	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	4件	1点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症対策で人の集まりに制限がある中、農業者が農業に対して意欲や能力を発揮できる環境整備のひとつとして、広く周知していく方法等を検討していく。

5. 成果	昨年度に比べ締結数は少なかったが、締結した農業者にとっては、家庭内の役割分担等を考える機会となり、女性の経営参画の促進につながっていると考える。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	54
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金			
担当	農水振興課（農業指導センター）			
事業概要	農村の女性が健康で充実した農業・農村生活の担い手となり、農業知識や技術の習得と消費者との交流などで情報交換に努め、地域農業・農村の維持・発展と地域活性化を図るため、「松山市農村生活研究グループ連絡協議会」へ補助金を交付する。			
数値目標	イベントでの活動紹介回数1回/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	役員会の開催2回、研修会や会員同士の交流会4回、郷土料理の伝承事業2回など、農村の女性の知識向上や、消費者との交流、学生への技術伝承など様々な活動を通して、農村女性の活躍推進を図った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	協議会員に高齢者が多く、コロナ禍での活動が縮小されている。

5. 成果	①会員の研修会は、農家として役立つ野菜の基礎知識を夏野菜及び秋野菜について学び、収穫物を家庭の食卓に出すことで、野菜知識の家庭内共有が図られた。 ②消費者との交流では、料理人を目指す学生に実習を通じて郷土料理を伝承し、農村における女性の役割や料理の奥深さを学生に伝えることができた。また、地域で収穫された特産物を利用した料理を子育て世帯に伝えることで、消費者の家庭に郷土料理などの普及が図られた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	55
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	担い手総合支援事業			
担当	農水振興課			
事業概要	農業の担い手を確保・育成するため、JAが実施する就農候補者への栽培技術や経営管理の研修の経費を補助するほか、新規就農者の経営定着や認定農業者の経営発展に必要な機械・施設の導入に対して補助金を交付し支援する。			
数値目標	認定新規就農者の女性割合15%以上			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	JAが実施する就農候補者研修にかかる経費や新規就農者が導入する農業機械・施設に対して補助を行った。就農候補者研修については、えひめ中央農業協同組合は32名、松山市農業協同組合は1名の研修生を受け入れしており、そのうち7名は女性研修生であった。また、農業機械・施設整備については11名中2名は女性農業者が活用し、次世代を担う農業者への支援と確保に取り組むことができた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	18.1%	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	2点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新規就農する女性の割合は男性に比べまだ低い状況である。 JA等の関係機関と連携しながら現状把握と農業への参入障壁の引き下げに努めるとともに、女性の割合増加に取り組む必要がある。

5. 成果	就農候補者研修の女性受講者は平成31年度は3名、令和2・3年度は5名、令和4年度は7名と増加傾向である。認定新規就農者となった女性割合についても目標の15%以上を達成し、将来の担い手となる若い女性農家の確保・支援ができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	56
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-1	職業能力の開発支援		
事業名	松山市人材育成事業補助金事業			
担当	地域経済課			
事業概要	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的として研修等を受講する際に、その費用の一部を補助する。			
数値目標	研修等参加人数1,200人　R5年度予算要求時補助件数：200件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的に研修等を受講する際に、受講料等の一部を補助した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	113人	1点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	従業者のスキルアップを重視した制度（国家資格や公的資格を取得すること）に変更したため、制度利用者は一時的に低下している。

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる研修等もあったが、研修開催者側の柔軟性でオンライン研修に切り替えて実施していただいたことで、一定の申請数を維持することができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	57
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の起業支援			
担当	地域経済課			
事業概要	松山しごと創造センターで、女性を対象とした起業の個別相談やセミナーを実施し、総合戦略に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の数値目標でもある事業所の増加や雇用の促進に繋げる。			
数値目標	創業者数（実数）39人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催し、創業者向けの支援を行った。女性の事業者同士が交流できるイベントを開催し、女性の起業において機会創出を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	40人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後も個別相談や創業者向けのセミナー開催を通じて創業支援を実施したい。

5. 成果	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催するなど、創業者向けの支援を行い、創業者の創出に寄与した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	58
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	松山市テレワーク在宅就労の促進			
担当	地域経済課			
事業概要	テレワークによる在宅就労者として障がい者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進する。 ※テレワークとは、ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を言う。			
数値目標	市内テレワーカー数750人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	テレワークによる在宅就労者としてひとり親家庭の親や障がい者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	853人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	コロナ禍によって、テレワークへの関心が高まる中、さらなる多様な人材の活用や働き方が求められている。

5. 成果	本事業の実施により、これまでに250名以上の雇用創出や市外企業からの市内指定事業所に発注した金額が4.6億円を超えており、外貨獲得につながっている。 本事業はテレワーク推進のための自治体独自の取り組みを進めている事例として厚生労働省や総務省（四国総合通信局）にも取り上げられるなど、全国的にも珍しい本市独自の取り組み。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	59
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の再就職支援			
担当	地域経済課			
事業概要	結婚や出産、育児などで離職し、再就職に対して様々な不安を抱えている女性の労働参加及び掘り起こしに向けて、求職者と企業の両面から女性の活躍促進に取り組む。			
数値目標	就職者60名（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	就労支援を県市が連携して実施しており、県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workで個別相談を実施し女性の就職を支援した。また、子育てママのお仕事相談として、市内の5児童館・センターに就労支援員を派遣し、女性の就労相談に対応した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	310名（累計）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	今後も再就職に対して様々な不安を抱えている女性の再就職支援を県市が連携して実施するとともに、企業に対して柔軟な働き方を可能にするための理解促進を図る必要がある。

5. 成果	県市が連携して就労支援に取り組み、ジョブカフェ愛workで支援した182名の女性の就職が決定した。また、子育てママのお仕事相談で再就職に対して不安を抱えている女性の相談に対応し、不安を軽減することができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	60
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	高齢者雇用対策事業			
担当	地域経済課			
事業概要	働く意欲と能力のある高齢者が働き続けられるよう支援するとともに、中小企業の人材確保を支援していくため、松山シルバー人材センターで高齢者就労の総合相談支援を行う。			
数値目標	相談者のうち常用雇用への就労に繋がった人数135人（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	高齢者に対する「高年齢者就労総合相談窓口」を開設し、働く意欲と能力のある高齢者がその能力を発揮して働き続けられるよう、従来の臨時かつ短期の就業だけでなく、常用雇用も含めた求人開拓から相談、求職者と事業者のニーズに応じたマッチング支援に至るまでの効果的な相談支援を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	68人（累計）	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症や定年延長、継続雇用制度の導入などの影響で高年齢者の働き方が多様化しており、高年齢求職者の就労支援の難しさが増してきている。多様な働き方、仕事を提案し、マッチングの拡大を図ることが必要である。 また、労働力人口が減少する中、労働力の確保として高齢者の活躍も重要なことから、求職者のニーズや社会情勢を踏まえて、より幅広い業種へアプローチし、求人を開拓する必要がある。

5. 成果	総合的就労相談窓口として、個々のニーズ、適性、能力に応じた就労機会の確保に努め、求職者の適性や希望に応じた就業を支援した。 求人開拓においては、ハローワーク等での情報収集、求人獲得の可能性のある事業所の洗い出し、シルバー派遣事業との情報共有により、一定の求人を確保することができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	61
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者（児）,外国人等への支援充実		
事業名	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理			
担当	高齢福祉課			
事業概要	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和3年度から令和5年度までの3年間を一期とした高齢者福祉事業や介護保険事業の円滑な実施に関する事業計画である「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	計画に基づく福祉施設建設（広域型特別養護老人ホーム等4施設）の工期内完成			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和2年度に策定した「松山市高齢者福祉計画」に基づき、松山市社会福祉施設整備審査会（10人中7人が女性）によって福祉施設の整備を行う事業者の公募及び選定を行った。整備は選定事業者が整備中。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	計画4施設中3施設が整備完了	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	「松山市高齢者福祉計画」で計画している4施設のうち、1施設の整備が完了せず、令和5年度に繰り越した。

5. 成果	「松山市高齢者福祉計画」で計画している4施設全ての整備事業者が決定し、3施設の整備が完了した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	62
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者（児）,外国人等への支援充実		
事業名	「松山市障害福祉計画」の進捗管理			
担当	障がい福祉課			
事業概要	障がい者の自立と社会参加のため、障害福祉サービスの提供体制の確保等に関する計画である「松山市障害福祉計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	福祉施設入所者の地域生活移行18人（令和3年～5年度の目標数値） 福祉施設利用者の一般就労移行80人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度は、「松山市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（令和3年度～令和5年度）」の計画期間であり、同計画では令和3年度から令和5年度までの3年間で令和元年度末の施設入所者数（452人）の4.0%に当たる18人以上が地域生活へ移行することを目指すこととした。この目標の達成に向け、令和4年度は「松山市障がい者総合支援協議会」の「地域移行小部会」で、身体障がい者入所施設の職員から現状をヒアリングするなど、課題を共有し、意見交換を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	福祉施設入所者の地域生活移行10人 福祉施設利用者の一般就労移行82人	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	施設入所者の高齢化や就労先の確保など、単年度の取組みでは解決が難しい要因がある。

5. 成果	令和4年度は、松山市障がい者総合支援協議会の「地域移行小部会」等の枠組みで、身体障がい者入所施設の実情をヒアリングするなど、関係機関と協議して課題を共有できた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	63(28)
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者（児）,外国人等への支援充実		
事業名	国際性豊かな人づくり【再掲】			
担当	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）			
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※（公財）松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。			
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加人数100人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和4年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）		
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和4年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	64
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	市民からの各種相談への対応			
担当	市民生活課			
事業概要	弁護士やファイナンシャルプランナーによる、多重債務相談を実施し、多重債務者の生活再建を支援する（ファイナンシャルプランナー相談は第1・3火曜日、弁護士相談は第1～4水曜日に実施）。			
数値目標	相談件数50件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	弁護士やファイナンシャルプランナーが多重債務相談や生活再建に関する相談に応じた。 ・ファイナンシャルプランナー相談　11件

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	11件	1点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	多重債務相談は減少しているが、市民からの家計に関わる専門的な知識が必要な相談についてファイナンシャルプランナーが相談に応じている。今後も継続して周知に努める。

5. 成果	市民からの各種相談に対応することができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	65
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	若者の正社員化及び就労訓練			
担当	地域経済課			
事業概要	雇用情勢は改善しているが、若年者を取り巻く雇用環境は依然として厳しく、非正規雇用のままで年齢を重ね、本来正社員として習得すべきキャリアが形成されていない若者が増えてきていることから、公共職業訓練校の受講生に対し、日額（交付要綱で定める）に通学日数を乗じた金額を職業訓練奨励金として支給し、経済的支援を行う。また、その認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所を対象に雇用の奨励金を支給する。			
数値目標	訓練奨励金認定者の正規雇用者数43人（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、非正規雇用の失業が懸念されることから、その中でも再就職の間口が狭い氷河期世代を支援するため、職業訓練奨励金の年齢要件を40歳未満から45歳未満に拡充して支援した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	37人（累計）	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	社会情勢が不透明な状況から求職者が就職活動に慎重になっていること、また、新型コロナウイルス感染症の影響による出控えやインターネットサービスの充実によりハローワークを訪れる人が減り、職業訓練を紹介する機会が減ったことなどが要因で、職業訓練受講者数が減少している。それに伴い、訓練奨励金認定者数が減少したことから、実績が伸びなかった。
5. 成果	年齢要件の拡充により、氷河期世代を含む訓練生の再就職支援を行い、就職者のうち87%が正規雇用に繋がった。また、正規雇用奨励金の認定社数は例年並みであったことから、訓練修了生の正規雇用に繋がる支援が行えていると考える。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	66
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭や寡婦が様々な活動に積極的に参加でき、ともに支えあい、自ら安定した生活を営み、子どもたちが健やかに成長できるよう、各種支援策をまとめた総合的な計画である「ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	―			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	担当課に進捗状況を確認し、松山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に評価をしてもらい、評価結果を松山市ホームページで公表した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	―	―
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	ひとり親家庭を取り巻く環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。

5. 成果	「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」令和3年度実施状況の評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになった。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	67
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理			
担当	保育・幼稚園課、子育て支援課			
事業概要	既存の幼稚園からの認定こども園への移行や、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児の受入れを強化する「待機児童対策・保育の質向上事業」及び、保育・幼稚園相談窓口で利用者支援を行うことなどにより、多様な保育サービスを提供し待機児童の解消に取り組む。 また、これらを包括した「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うことで進捗管理を行う。			
数値目標	保育所等利用待機児童数0			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	公立生石保育園への臨時園舎の設置や私立認定こども園の分園増設により子どもの受け入れを拡充など、官民一体となって保育の受け皿確保に努めた。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	0人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	施設の定員数維持及び保育の質向上のために、保育士の確保が必要。

5. 成果	官民が一体となって待機児童対策に取り組んできたことから、令和4年4月1日現在で、待機児童ゼロを達成した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	68
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業（育児）】			
担当	男女共同参画推進センター・子育て支援課			
事業概要	子育て援助活動支援事業は、子育てについて、援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動（保護者にかわり保育園の送り迎え等を行う等）が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数7,776件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	広報紙や子育て情報サイト「カンガエルーカフェ」などでお知らせするとともに、令和4年度は里親約150名への送付資料に、提供会員募集の案内とパンフレットを同封いただくよう依頼し、制度普及を図った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	5,359件	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	退会した会員49名に対し、新規加入会員44名であり、5名減となっている。 核家族の増加や地域とのつながりの希薄化などを背景に、育児不安を抱えながら地域から孤立した子育て家庭が増えており、こうした育児不安の解消に、地域が持つ子どもを育てる力に大きな期待が寄せられており、今後さらに会員数の増加を図る必要がある。

5. 成果	令和4年度は秋から新型コロナウイルス感染症が緩和した影響もあり、依頼件数が増加。活動件数は昨年と比較し69%増となっている。提供会員が増えない中でも、コーディネーターにより適切なサービスの提供を行うことができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	69
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育てに関する情報の発信			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育てに関する情報（保育園や幼稚園、認定こども園等の情報等）を収集し、子育て情報サイトや冊子で情報発信する。			
数値目標	累計アクセス数219,249件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	就学前の子どもがいる家庭を対象にした冊子「まつやま子育て応援ブック　まつトコ2022」（発行元はNPO法人子育てネットワークえひめ）を9月に9千部発行した。また、赤ちゃんセットへの同封、支所、児童館等で配布を行った。 子育て情報サイト「カンガ（エ）ルーカフェ」の運営管理を継続し、子育てに関する情報を掲載した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	累計アクセス数　133,495件	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	子育て情報サイト「カンガ（エ）ルーカフェ」について、累計アクセス数が目標の数値を達成できなかった。今後も子育て情報サイト「カンガ（エ）ルーカフェ」を周知していく必要がある。

5. 成果	まつトコの発行により、子育て家庭に子育てに役立つ情報を発信できた。 子育て情報サイト「カンガ（エ）ルーカフェ」について、累計アクセス数（ページビュー数）が133,495件であった。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	70
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て家庭の送迎等支援			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て家庭が、子どもの送迎や預かりに利用できるサービス（ファミリー・サポート、イクじい・ばあばママサービス）に利用者補助を行うとともに、サービスの周知を図る。			
数値目標	助成件数7,930件/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	子育て家庭がサービスを利用しやすいように、利用補助を行った。ファミリー・サポート・センター（育児）については、1か月あたり利用時間の2時間30分までを無料とし、イクじい・ばあばママサービスについては、1か月あたり利用時間の5時間までを半額とした。 各々の事業実施主体である（公財）男女共同参画推進財団・（公社）松山市シルバー人材センターに補助金を支払い、利用者補助を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	5,323件	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	子どもの送迎や預かり等の依頼に応えられる提供会員を増やす必要がある。

5. 成果	令和4年度の助成件数は5,323件で、子育て家庭が子どもの送迎や預かりサービスを利用する際の金銭的負担軽減に貢献した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	71
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ファミリー・サポート・センター（介護）			
担当	高齢福祉課			
事業概要	ファミリー・サポート（介護）は、介護について、援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動（食事の準備や後片づけ、部屋の掃除や衣類の洗濯、留守見守りや話し相手）が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数6,700件			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	制度普及を図るため、会員募集広告及び提供会員募集の説明会を実施し、事業周知を行い新規会員の増加に努めた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	4,885件	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	近年のコロナ禍の影響で減少した会員数を増加させることが課題である。

5. 成果	コロナ禍においても適切なコーディネートに努め、利用件数が昨年度に比べ、約1,000件増加した。

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	72
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	介護予防と認知症サポーターの養成			
担当	介護保険課			
事業概要	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループを支援するとともに、認知症高齢者やその家族を優しく見守る支援者を養成する。			
数値目標	ふれあいいきいきサロン参加者120,000人　認知症サポーター養成講座受講者数5,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループへの支援として、ふれあい・いきいきサロンへの支援を行い、延べ48,880人（うち男性5,426人、女性43,454人）が参加した。 認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する取組として、認知症サポーター養成講座を開催し、2,812人（男性1,253人、女性1,559人）が受講した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	サロン48,880人、認知症サポーター2,812人	2点、3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、ふれあい・いきいきサロンや認知症サポーター養成講座の開催数が減少し、サロン活動者数や認知症サポーター養成講座の受講人数が減少傾向となっていることが課題である。 また、ふれあい・いきいきサロンの参加者は女性が多くなっているが、男性の参加も増えるよう、引き続き活動を支援する。

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響で思うように集まれない時期もあったが、ふれあい・いきいきサロンでは、脳トレーニングのプリントなどの介護予防資料を歩いて取りに行く「てくてくデイ」や従来のサロンよりも活動時間を短くした「ミニサロン」を継続するとともに、従来のサロンよりも登録条件等を緩和した「緩和型サロン」をモデル的に実施するなど、サロン活動者数を増やしていくための取り組みを推進することができた。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	73
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-1	避難所運営や仮設住宅での男女共同参画		
事業名	対策本部運営事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害発生時に災害対策本部、災害警戒本部の設置及び運営を円滑に実施し、被害情報の共有や被害対応の迅速化並びに気象情報等の収集、伝達を行い、市民の生命、身体および財産を保護し、被災者等の市民生活の早期安定を図るもの。対策本部運営のため、各担当職員への研修を行う。			
数値目標	避難所担当職員研修1回以上/年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	風水害対応図上型防災訓練をはじめ、新型コロナウイルス感染対策に特化した避難所訓練や避難所担当職員研修などの各種研修を予定通り行い、職員の意識向上やレベルアップ、対策本部運営のためのノウハウを習得することができた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	5回以上	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後30年以内に南海トラフ地震が起きる確率70%程度、本市での揺れは最大震度7と想定されており、いかに人的・物的被害を大幅に軽減させることができるのか、日頃からの備えや年齢・性別に捉われず市民への幅広い啓発活動などハード・ソフト面での柔軟な対応が求められる。

5. 成果	各種訓練内容をテレビや新聞で取り上げていただき、市民の方々への防災・減災意識の向上に繋がった。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	74
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	自主防災組織育成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップを図るため、防災研修や講演会、シンポジウムなどを開催するほか、必要なテーマに関する調査・研究を行う。 また、事業を通じて、男女共同参画はもとより、世代・業種・障がい等の多角的な視点を基本とする。			
数値目標	41地区			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響で中止していた女性防災士研修会を、4年ぶりに対面で実施した。 また、全41地区の自主防災組織や防災士を対象に、マイ・タイムライン講師養成研修を実施したほか、気象予報士・気象キャスターの伊藤みゆき氏を招いて防災シンポジウムも開催した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	36地区	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	女性防災士未配置の地区に対して、引き続き女性の資格取得を進めていく。 また、自主防災組織の充実・強化、防災士のスキルアップが促進できるよう、継続して様々な工夫を行う必要がある。

5. 成果	女性防災士研修会では60名の方に参加いただき、地域や世代、職業を超えた交流の場を創出することができた。 また、研修会や防災シンポジウム等を通じて、自主防災組織や防災士の皆さんに、防災の知識と技術を習得いただけた。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	75
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	松山のひととまちを守る！防災士養成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	公費負担により、自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所への防災士配置を進め、総合的な地域防災力の強化につなげる。また、女性の防災への参画の重要性から、女性防災士の養成に取り組む。			
数値目標	女性防災士の割合（公費負担）：20%			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	愛媛大学と連携して防災士養成講座を実施し、広く防災士資格が取得できる機会を創出した。 また、公費負担で自主防災組織、小中学校、幼保育園、児童クラブ、福祉避難所、災害協定締結事業所、郵便局に防災士を養成した。さらに、令和元年度より取り組んでいる公費での高校生防災士養成も行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	19.70%	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	女性防災士の割合は年々高くなっているが、決して高い水準とはいえない。災害時には様々な視点からの支援が必要になるため、引き続き女性防災士の養成を進めていく。

5. 成果	新型コロナウイルスの影響下でも工夫して防災士養成講座を実施し、様々な世代や職域に防災リーダーを育成することができた。 公費負担での防災士資格取得者の累計は3,408人で、内女性防災士は671名となった。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	76(38)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成（女性防火クラブ）【再掲】			
担当	地域消防推進課			
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。			
数値目標	実施地区37地区			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度中に松山市内39地区で地区研修会を実施した。DVD視聴や防災講話の聴講を通じて防災意識を高めた。そのほか、女性ならではの視点を活かし、避難所運営訓練や応急救護訓練などに参加して訓練を効果的なものとした。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブ等に出向き、紙芝居等を使用して防火・防災教育を行うなど、啓発活動を実施した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	39地区	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	3点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各地区での活動が小規模になっているため、今後は他団体と連携した訓練・研修を積極的に実施し、地域の繋がりを強化していく必要がある。

5. 成果	一年間を通して各地区の保育園・幼稚園や児童クラブ等で防災紙芝居等を使用した防災教育を実施した。令和4年度中に、幼稚園・保育園では合計26園・2,296人の園児に、児童クラブでは合計25クラブ・767人の児童に対して防災教育を実施した。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	77
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標	地域防災計画の見直し回数1回／年（必要に応じて）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	災害対策基本法、愛媛県地域防災計画及び愛媛県水防計画等の見直しを受けて、それらとの整合性を図るために修正を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回見直し実施	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	実災害時の対応状況やガイドラインに基づく取り組み状況を検証し、抽出した内容を今後の地域防災計画に反映させ、有事に備える必要がある。

5. 成果	法律の改正、防災基本計画及び愛媛県地域防災計画の修正内容等を反映させることで、松山市の総合的な防災力向上に繋げることができた。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	78
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	啓発推進事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	市内の小中学生から防災に関するポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに、各施設にて展示する。 防災・減災を市民、地域、行政が共に考える日にするためにイベントを開催する。			
数値目標	防災イベントアンケート回答者200人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	防災ポスターの募集、表彰を実施し、優秀作品を市役所や防災センター、いよてつ高島屋等に展示した。 なお、事業の見直しにより、令和4年度より防災イベントは中止となったが、消防フェスタ等でブース出展し、防災啓発を実施した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	実施なし	0点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	防災イベントと同様の啓発活動を継続するため、各種防災訓練やイベント等の機会を活用し、啓発に取り組む必要がある。

5. 成果	防災ポスターの優秀作品を、様々な企業や団体に協力いただいて掲示したことで、多くの方に防災について考える機会を提供することができた。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	79
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	みんなの消防フェスタ開催事業			
担当	地域消防推進課			
事業概要	多くの市民に防火・防災について関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする各種団体の横の連携を深めることを目的に、「みんなの消防フェスタ」を開催し、防火・防災啓発を行う。			
数値目標	開催につき1万人の参加者			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、規模を縮小して「みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム2022」を開催した。体験型イベントコーナーや啓発コーナーを設置したり、松山市女性防火クラブ連合会が飲食物販売をするなどして防火啓発を行った。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	4,000人	2点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	複雑・多様化する災害に対し、様々な方に配慮した備えをするため、体験型ブースや啓発ブースの内容を必要に応じて見直していき、来場者の防火・防災意識をより高めていく必要がある。

5. 成果	防災シンポジウムに参加した女性の割合は26.9%であり、昨年度の18.2%から増加した。今後も、女性や小学生から高齢者まで切れ目なく、幅広い世代の方々に参加していただける方策を検討する。

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	80
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-2	災害用物資の支援		
事業名	災害用物資資機材整備事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	地震等の大規模災害発生時に被災者に対して食料や飲料水、日用品、毛布等の物資を速やかに供給するため、必要物資の備蓄配備を行うとともに、衛生面に配慮し、ウェットティッシュや手指消毒剤なども配備する。また、地域の主要な避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレなどの資機材を、高校・大学へ計画的に配備するとともに、風水害等の水防資器材の整備により被害の軽減を図る。			
数値目標	高校・大学等への資機材配備率100%			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	平成28年度から5ヶ年計画に基づき、様々な資機材を計画的に配備してきた。その結果、令和2年度中に高校・大学を含む29箇所の学校施設に予定していた全ての資機材を配備することができ、目標を達成することができた。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	100%（29箇所）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	食料や飲料水には賞味期限があるため、定期的に購入及び搬入作業が必要となる。そのため、コストや作業効率を検討する必要がある。

5. 成果	大規模災害発生時に地域の主要な29箇所の避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレ等の資機材を100%配備することができている。 今後は、それら資機材を有効活用することで、減災に期待が持てる。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	81
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内の小・中学校に対して、運営委員会の設置、基礎研修、学級・学年別懇談会の開催を依頼し、教職員及び保護者が人権教育の重要性を認識するとともに主体性を持って事業に取り組むよう意識を啓発することにより、人権感覚豊かな人材の育成に努める（校区別人権教育懇談会）			
数値目標	参加者数114,000人（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	校区別人権教育懇談会を開催し、学習活動実践例を取りまとめた。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	193,382人（累計） （令和3年度：65,609人、令和4年度：71,602人）	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、校区別懇談会は、当初計画の3回の内、1回が開催中止となった。

5. 成果	学習活動実践例を発表し、課題等に関して相談や議論をしながら、教職員及び保護者が人権教育の意識を高めた。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	82(52)
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	講演会等を通した若年層への周知回数　1回／年			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	家庭内性別役割分担の国際比較を専門とされているお茶の水女子大学理事・副学長の石井クンツ昌子氏を講師として招聘し、聖カタリナ大学社会福祉学科（57名）聖カタリナ短期大学保育科（43名）を対象に基調講演を開催した。 また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる「コムズまどんな応援事業所」の若手職員が登壇する交流会（質問会）を実施し、聖カタリナ大学社会福祉学科（54名）聖カタリナ短期大学保育科（41名）が参加した。 ＊いずれも新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1回	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	会場となる大学以外の市内3大学の学生にも参加を呼びかける予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、実施大学の学生のみを対象とすることに変更した。 令和5年度は、より多くの学生に参加していただけるよう準備を進めていく。

5. 成果	基調講演では、身近にあるジェンダー・バイアスに気づき、男女共同参画について学ぶ大切さを認識する機会となった。 また、交流会では、参加学生の就職先として多い職種（保育士、社会福祉士）の登壇者をお招きしたことで、学生がより具体的に自分の将来について考えるきっかけを提供することができた。 事後アンケートでは、「ライフデザインを考える参考になった」と回答した学生が9割にのぼった。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	83
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	地区人権教育の推進			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権に対する関心を全市域において高めていくためには、地域における学習会の積み重ねが重要であるため、公民館本館や分館などを単位とした人権学習会を実施し、人権を大切にし互いを認め合えるまちづくりを目指す。			
数値目標	開催数870回 参加者数51,000人（累計）			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	地区人権教育推進協議会や公民館事業推進委員会、ふれあいセンターと連携・協力し、公民館本館や分館・集会所などを単位とした小集団学習会を実施した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	開催数466回 参加者数57,430人（累計） （開催数　令和3年度：140回、令和4年度：184回） （参加者数　令和3年度：19,563人、令和4年度：17,274人）	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習会等を中止することもあったが、当初計画の約8割を実施できた。今後も、感染症対策を継続して行事を制限する地域もあると思われるが、各地域の事情に配慮しながら、学習会に代わる啓発活動等を引続き支援する。

5. 成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習会の代わりに、人権に関するチラシを作成配布するなどの啓発活動をおこなった。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	84
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権教育研究会の開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	松山市人権教育推進協議会における関係機関・団体等の関係者ほか市民が一堂に会し、研究協議や交流を深める中で、人権に関わる社会問題の解決を市民一人ひとりの課題とし、問題解決に向けて果たすべき役割を確認し合うとともに、実践事例を通して、人権教育・啓発活動の一層の飛躍を図るために、研究会を開催する			
数値目標	参加人数（累計）3,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	全体会（講演会）を開催予定だったが、講師の体調不良のため中止とし、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、小規模な人数で分科会のみを開催した。	
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1,443人（累計） （令和2年度：中止、令和3年度：1,138人（全体会・分科会）、 令和4年度：305人（分科会））	2点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度は中止、令和3年度は全体会のみオンライン、令和4年度は小規模な分科会のみの開催となった。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、全体会及び分科会の開催を目指したい。

5. 成果	参加者アンケートでは、「研究大会の分科会の内容について」という問いに対し、約72%の方が、「良かった」と答えている。「日頃自分があまり考えていなかった分野について学び、考える機会をもつことができて良かった」、「発表の意見交換が良かった。各々の考え方等をディスカッションでき、やはりリアルは良い」といった感想をいただき、会場開催で参加者の意見交換等ができたことで、人権意識の醸成により深みをもたせることができた。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	85
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権啓発フェスティバルの開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権問題に対する正しい知識や情報を提供することにより、市民一人ひとりの人権意識を高め、相互に人権を守り合うことの大切さを認識し、心豊かな人権尊重社会を築くことを目的として、人権啓発フェスティバルを開催する。当日は人権に関する講演会や人権問題の解決に向けて活動する団体による展示などを複合的に実施する。			
数値目標	（2）参加人数（累計）3,000人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	人権啓発フェスティバル2022を開催し、ダウン症の書家・金澤翔子さんと、その母・泰子さんを招き、席上揮毫と講演会を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、市総合コミュニティセンターでの会場講演とあわせて、オンライン配信も実施し、参加した市民から高い評価を得た。今後も、人権意識の醸成につながるテーマを取り上げ、広く人権教育・啓発に取り組む。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	974人（会場・オンラインの合計）	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	令和3年度のアンケートでは4.5%の方が「性別を答えたくない」と選択していたため、性的マイノリティの方への配慮の視点から、令和4年度のアンケートからは性別記載欄を削除した。

5. 成果	参加者アンケートでは、「今回の講演を受講し、人権についての理解が深まったか」という問いに対し、会場講演、オンライン配信ともに約92%の方が、「大変深まった」「まあ深まった」と答えており、人権意識の醸成につながるイベントを実施することができた。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	86
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	キャリア教育の支援			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	親や小中学生を対象に、理系分野に親しんでもらうなどのイベントの開催を行う。			
数値目標	講座参加人数30人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	女子学生・生徒の理工系分野への進学状況は他の分野と比較して低い状況にあり、女子の理工系分野への関心・理解を高めるために、小学校低学年の女子児童とその保護者を対象に、理系女子大学生が講師を務め、サイエンスに触れる講座「親子でトライ！未来をひらく わたしのサイエンス教室」（8月28日）を実施した(38人)。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	38人	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	参加希望者が多く抽選となったため、今後は参加定員を増やせるよう工夫していく。

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から定員を18組としたが、申込件数は31組であり、関心の高さを知ることができた。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	87
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	子どもから広がるいじめ0ミーティング			
担当	学校教育課			
事業概要	小中学生による「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施し、各学校の児童生徒の代表者や保護者、教員等の参加により多様な意見を交わす機会を拡充するとともに、児童生徒のいじめに対する認識を深め、すすんでいじめをなくそうとする態度と実践力を養う。			
数値目標	各学校において、毎月1回、いじめをなくす取組を実施			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	令和4年12月27日に「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を開催したり、毎月10日「まつやま・いじめ0の日」には、各学校において、いじめをなくすための取組を実施したりした。 また、「ネットを介したいじめやトラブルを防ぐための行動宣言」について、各校から出された改善案を基に内容を見直し、新たに「ネットを介したいじめやトラブルを防ぐためのまつやま子ども行動宣言2022」を設定した。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	各校で毎月１回実施	5点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	4点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	「子どもから広がるいじめ0ミーティング」では、本市の小中学校の実態や実情に応じたテーマを検討し、さらに協議が充実したものになるようにしたい。今後も「まつやま・いじめ0の日」の取組が充実していくよう、代表校の取組等を市内の学校で共有するなど、啓発に努めたい。

5. 成果	令和4年度は、参集しての「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施することができた。「タブレット端末におけるいじめ」や「ネットを介したいじめやトラブルを防ぐためのまつやま子ども行動宣言2022」に関する取組について、グループ協議をとおして、市内全校のいじめ0に向けた意識を高めることができた。また、継続的な活動を行うことで、学校でのいじめをなくそうとする意識が芽生え、学校、地域、保護者が一体となっていじめをなくそうとする気運が広がっている。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	88
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-1	生涯学習の推進		
事業名	元気活力支援事業			
担当	地域学習振興課			
事業概要	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指す。			
数値目標	講座・活動開催数2,000回			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	高齢者、成人、女性、子ども等、幅広い地域住民を対象にした「人権問題講座」「健康講座」「防災講座」「料理教室」等を開催した。地域住民が参加しやすい活動の場を提供できた。また、活動の成果を地域に還元し、地元により愛着が持てるきっかけづくりになった。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	1,982回	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	年度初めに地域住民の代表者とどのような活動を行うか計画をしているが、活動終了後に参加者からの聞き取り等を行い、公民館を拠点とした魅力ある活動の場を提供できるように地域住民の声を活かしていく必要がある。

5. 成果	地域住民が、子どもからお年寄りまで「集い、学び、支え合う」ための生涯学習の機会を提供することで人と人がつながる地域づくりに貢献できた。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	89
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発（エンパワーメント）のための機会の充実		
事業名	男女共同参画に関する出張講座の開催			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民対象に男女共同参画推進の意識啓発を図るため、市民グループや企業に対し、男女共同参画に関する出張講座の開催及び講師派遣を行う。			
数値目標	派遣回数25回			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	実施した20団体の内訳は、市民一般（市民団体・PTA保護者等）6件、事業所6件、学校（児童・生徒・大学生）8件。 内容は、「ジェンダー平等を実現しよう」「男女共同参画とアンコンシャス・バイアス」「良好な人間関係を築くためのコミュニケーション」「一人で頑張らない子育てのすすめ」「乳幼児期からの性教育」「健康体操」「防災講座」など多岐にわたる。

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	20回	4点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点)　30%～49%(2点)　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、応募を控えたり中止したりと開催が難しい状況が続いたが、令和4年度は申込件数がコロナ前に戻りつつあった。 引き続き、内容・開催形式ともに市民の多様なニーズに応じることができるよう、講師の開拓を行い、申込団体の希望に沿った講座を実施をしていく。

5. 成果	申込団体の希望に応じ、オーダーメイドで講座内容を組み立てることで、参加者の満足度は高く、次年度も利用したいとする団体が多かった。 参加者は小学生から高齢者まで多岐にわたり、様々な団体の要望に応えることができている。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	90(39)
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発（エンパワーメント）のための機会の充実		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。			
数値目標	参加人数400人			

【令和4年度実績報告】

1.令和4年度の取組内容	「男のスキルアップ講座」（全4回・5月～10月）：延べ参加人数54人 「親子でトライ！女の子の未来をひらくサイエンス教室」（8月）：38人 「ママのHappyが子どものHappy！」（全3回・10～11月）：延べ参加人数62人 「わたし流生き方セミナー」（全2回・12月、1月）：延べ参加者数55人

2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	209人	3点
※達成度　0%（0点）　～29%(1点）　30%～49%(2点）　50%～79%（3点）　80%～99%（4点）　100%以上（5点）		

3. 男女共同参画への配慮度　（0～5点）	5点

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✔
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✔
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✔
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✔
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✔

4. 課題	参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。

5. 成果	ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。